

グローバル人材育成関連

G 学長、副学長がロサンゼルス白門会を訪問

8月30日(金)~9月3日(火)にかけて、福原紀彦学長および若林茂副学長がロサンゼルス白門会を訪問しました。2年前から熱烈なオファーを受けて、今回、実現したものです。

目的は、昨年20周年を迎えたロサンゼルス白門会に対して、これまでの支援の御礼をするとともに、先行してロサンゼルス白門会企業訪問プロジェクトで訪問しているキャリアセンター、商学部の取り組みも踏まえ、現地関係者とさらなるネットワークづくりを行うことです。

「中央大学の学生は、中央大学のキャンパスのみならず、社会で、そして世界で学ぶ」の発想のもと、教育・研究支援のためにロサンゼルスが一つの拠点となること、さらにはロサンゼルスとほかの地域が連携してグローバルな広がりをもっていくことをめざしています。

現地では、ロサンゼルス白門会の方々が進める企業を訪問したほか、役員との懇親会、臨時総会などに出席し、深く実りのある訪問となりました。



白門会ロサンゼルス支部臨時総会にて



ロサンゼルス白門会企業訪問プロジェクトで訪れた学生4名と合流しNOATEXを訪問



ロサンゼルス白門会会員宅にて、歓迎会が催された

G 異文化交流スペースの正式名称が「G²(Gスクエア)」に決定

キャンパス内における異文化交流の拠点として、2013年3月28日(木)に多摩キャンパス・ヒルトップ2階にオープンしたグローバル・ラウンジ。6月に本学の学部生および大学院生を対象に正式名称を募集しました。

34点の名称候補のなかから、中島雅貴さん(法学部国際企業関係法学科2年生)の応募名称「Global Square」を原案とし、選考委員会にて、正式名称をG²(読み：Gスクエア)に決定しました。

現在、G²では、学生自らが企画する留

学生との交流イベントや異文化理解のためのセミナー、語学の勉強会など、さまざまなイベントを開催しています。

2013年度後期からは、全学部から学生運営スタッフを雇用し、企画、広報、チャットルーム、設備管理担当に振り分けて、各担当が責任を持って業務のプランを作成、運営する体制を整えました。

また、G²での活動やイベントを紹介する公式facebook(www.facebook.com/chuog2)も新たに立ち上げ、G²のさらなる活性化を図っています。

G 中央大学SENDプログラム(日本語教育)海外実習報告会

グローバル人材育成推進事業に基づき2012年度に新設された中央大学SENDプログラム(日本語教育)。2つの海外留学を含む、4段階のプログラムによって、異文化および日本語・日本文化を深く理解し、将来日本と外国との架け橋となるエキスパート人材の育成をめざして、全学部生を対象に開講されています。

第1期生は30名。2013年2月に実施した英国国際教育研究所(IIEL)での短期留学を経て、8~9月には本学の海外協定校で日本語教師アシスタント(TA)として日本語教育・日本文化の紹介を行いました。

この経験をアウトプットすることを目的に10月29日(火)多摩キャンパスのG²(Gスクエア)で開催されたのが、海外実習報告会です。

当日は、第1期生のうち7名が海外協定校での日本語教師体験について語りました。発表に臨んだ学生たちからは、「リサーチ不足だったり、予想していなかった質問が飛んできたりと、教えるのは難しいと感じる場面が多々あったが、逆にどう教えたらよいのかを学ぶことができ

G²に込められた3つの思い

- 1 「Global Square」
G²を異文化交流の場として、これからも発展させていきましょう!
- 2 「Global Generalist」
学生の皆さんにめざしていただきたい人材像の一つです。
- 3 「Go Global!」
中央大学から世界へ!

た」「自分を振り返るよい機会になった」「今回の実習を通して、日本語を外国語として理解していないと教えられないということがよくわかった」といった声が聞かれ、参加した多くの学生たちが興味深く耳を傾けました。



G²に掲示されているSENDプログラム受講生が作成したポスター



中国・大連大学での体験を語る丹羽悟さん(文学部文学科英語文学文化専攻4年)